

国立天文台運営協議員台外委員投票結果について

上記投票は、5月23日締切で、計34の投票総数でした。新潟大学の富坂幸治氏の立会いの下の開票の結果、杉本大一郎、中村卓史、佐藤勝彦、高原文郎の4氏の得票順でした。これを、理論・共通専門委員会へ提出し、そのまま、国立天文台長へ推薦することになりました。なお、計算機関係で適切な委員を台内から加えるよう要望することになりました。現在、台長の下へ各専門委員会からの推薦が出揃い、大学・研究機関、分野等のバランスを考慮した調整が行なわれる予定です。この場合、推薦順の逆転や推薦されなかつの方々を含めることもあり得ることを了解しておいて頂きたいと思います。（この項文責：池内了氏）

京都大学基礎物理学研究所運営参加に関する要望書提出及びその結果についての報告

1. 要望書提出

前回理論懇談会（京大会館5月7日）の決議に基づき、理論懇を基研の運営参加選挙母体として認知するよう求める要望書（別紙）を運営委員で作成し7月10日付で基礎物理学研究所に提出しました。

2. 基研部員会議及び結果報告

基研より7月12、13日に開かれた基研部員会議に理論懇より2名のオブザーバの派遣の要請があり、野本運営委員長の決定で稻垣省五、佐藤勝彦が出席しました。13日の基研部員会議において、選挙母体についての議論が行われましたが、佐藤が要望書にそって、理論懇を新基研の選挙母体として認めるよう求め、理論懇の組織、構成等について説明を行いました。若干の議論の後、暫定案とし&F次のように決定されました。

- (1) 理論懇を、素粒子論グループ、物性グループと同等な選挙母体として認める。
(2) 理論懇から選出される人数としては暫定的に、半数改選の選挙毎に

運営委員 1名
部員 2名

とする。

- (3) 基研将来計画委員会に理論懇からの推薦者を加える。

次回の運営委員の選挙は来年春、また部員の選挙は今年末行われますので、その時点よりオブザーバではなく正式の構成委員として理論懇から委員を送ることができる様になりました。選挙は半数改選ですので次回の選挙が終わった時点で、理論懇より運営員2名、部員4名を出すことになります。従って運営委員会、部員会議の構成は以下のようになります。

	素核	物性	宇宙	その他	基研	京大	計
運営委員	6	3	2	1	5	5	22
部員	20	10	4	-	14	-	48

この内、選挙母体から選出される委員のなかでの理論懇委員の割合は

運営委員会 : 2/11
部員会議 : 4/34

であり、運営委員会における割合では要求した割合2/9に近い値ですが、部員会議における

割合ではほぼその半分 2 / 17 です。この点に関しては、不満は残るもの、理論懇の基本的要素は満たされたものと考えられます。「暫定案を受け入れるか否かについては基研部員会議に出席する理論懇運営委員（稻垣省五、佐々木節、佐藤勝彦、中村卓史）に一任する。」（野本理論懇運営委員長の発議による運営委員の了承事項）に基づき4人で協議し、この案を当面の暫定案として受け入れることにしました。これは、案自体が理論懇の要求をほぼ満たすものであるあるというだけではなく、次回の選挙にまにあうためには、何等かの暫定案をのむ必要があるという事情によります。

3. 基研将来計画委員会メンバーの推薦

合併後の新基研の運営ルールを作成するため、昨年度より将来計画委員会が設置され作業が進められていますが、上記の決定に基づき理論懇からメンバーを推薦しなければなりません。

野本運営委員長の発議、運営委員の了承により、これまで基研の将来計画委員であった佐藤勝彦氏を継続性を考慮し推薦することとしました。

京都大学基礎物理学研究所の新企画の募集について

基研では、別紙のように新しい企画として、ビジター制度、地域スクール制度ならびにゼミ派遣制度を設けることになりました。希望者は別紙要領に従って、お申し込み下さい。

会費納入のお願い

事務局の不手際で、会費払い込み用紙送付が遅れたため、現在理論懇の会計は赤字になっています。早急に会費を払い込んで戴くようお願いします。

会員名簿の更新について

現在の会員名簿は、2年前のデータを基にしていますので、不正確になっている可能性があります。データ・ベースを update して、会計に余裕があれば新しい会員名簿を送付したいと思いますので、同封したデータに訂正のある方は事務局までお知らせ下さい。

住所変更

穂積俊輔
〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学教育学部地学教室
Tel:0775-37-0081 x452
Fax:
Email:

長澤幹夫
〒152 東京都目黒区原町1-22-3
計算流体力学研究所
Tel:03-711-0454
Fax:03-714-6230
Email:

3#